

トレーニングハンドについてのQ & A

Q1 木製のトレーニングハンドを使用しても問題無いですか？

A 使用不可です。

Q2 プレプライマーとプライマーは塗布する必要がありますか？

A どちらでもよいです。ただし、持参した場合は品名ラベルを貼付してください。

Q3 施術していないトレーニングハンドをアームレストに置いていないと減点ですか？

A アームレストに置いていなくても問題ありません。明らかに衛生管理の配慮が無い直置きをした場合は失格です。

Q4 「トレーニングハンドの扱いは人の手と同様に丁寧に扱うこと」とはどの程度なのでしょうか？

A 明らかに人の手の動きとして出来ない状態で固定し、施術した場合は減点ですが、持ち上げたり、裏返したりするのは問題ありません。

Q5 左手用のトレーニングハンドを右手用として使用する場合、指の指定はどうなるのでしょうか？

A 指の指定は変わらないので、左手用を右手用として使用する場合、指定された指に施術してください。

Q6 左右でサイズが違うトレーニングハンドを使用した場合、減点になるのでしょうか？

A 全体の仕上がりが統一されていれば、左右サイズが違うトレーニングハンドでも問題ありません。

Q7 ハンドの手の平が厚いためライトに入れる際、接触してしまいます。ライトの高さを上げてもよいですか？

A ライトを台の上に置いても問題ありません。ライトを持ち上げて、トレーニングハンドに当てても問題ありません。

Q8 トレーニングハンドを入れるライトの向きは受験生側でもよいですか？

A ライトの向きに制限はありませんので、受験生側から入れて問題ありません。

Q9 トレーニングハンドを落とした場合、どうすればよいですか？

A 他の用具と同様、試験官に手を挙げて連絡し、自分で捨い、手指及び用具消毒を行った後、「消毒しました」と挙手して申告してください。

Q10 チップが取れてしまった時にアクリル、ジェル、グルー、アクティベーターや両面テープを持ち込んでもよいですか？

A 構いません。試験中であれば外れたチップを付け直すことは問題ありません。ジェルに関しては指定商品であること。なお、持ち込む用材の容器にはラベルを貼って、セッティングしてください。

Q11 底に反射板のないライトを机に直に置き、トレーニングハンドを入れて使用した場合、減点になりますか？

A 要項P11「○衛生面における配慮」の「※ライトの底に反射板がない場合、手が直接机に触れないようライトの下にタオルやペーパータオルを敷くこと。」「※トレーニングハンドを直置きしないこと。」の項目を満たせていなければ減点となります。

Q12 底に反射板のあるライトを机に直に置き、トレーニングハンドを入れた際、手首部分が反射板をはみ出で机に触れた場合、減点になりますか？

A 指先の部分がはみ出でなければ減点なりません。